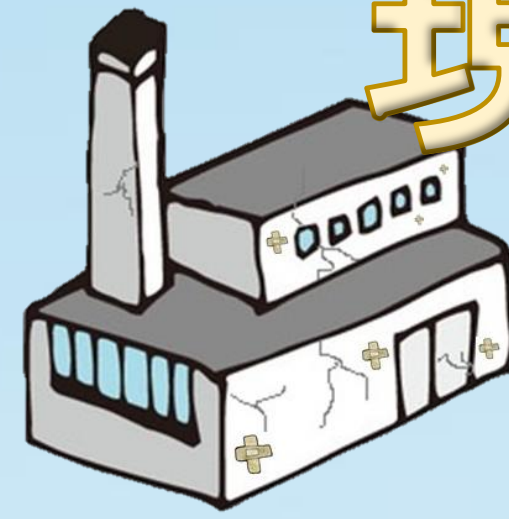


# 現在の施設と検討中の新しい施設の 違いは何だろう？



煙突の高さ	
現在の施設	新しい施設
59m	59m

今稼働している施設と  
検討会で検討中の新しい施設  
を見比べてみよう！

市独自の基準値をきちんと  
守ることができる処理設備  
が必要だね！

排ガス処理設備	
現在の施設	新しい施設
<ul style="list-style-type: none"> <li>乾式酸性ガス除去設備</li> <li>ろ過式集じん器</li> <li>燃焼制御法による処理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>乾式酸性ガス除去設備</li> <li>活性炭吹込みろ過式集じん器</li> <li>触媒脱硝装置</li> <li>燃焼制御法による処理</li> </ul>

処理方式	
現在の施設	新しい施設
焼却方式 ストーカ式	焼却方式 ストーカ式

ごみピット容量	
現在の施設	新しい施設
1,500m <sup>3</sup> 処理能力の3日分	4,000m <sup>3</sup> 処理能力の7日分

炉構成・処理能力	
現在の施設	新しい施設
75t×2炉 =150t/日	50t×2炉 =100t/日

市民の皆さんのご協力のおかげで  
ごみが減少傾向であることから、  
小さな処理能力とすることで  
検討しているんだね！

全国でもトップクラスの  
自主規制値を市独自に  
設定するよう検討して  
いるんだね！

物質	公害防止基準	
	現在の施設	新しい施設
ばいじん(g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub> )	0.15	0.005
塩化水素(ppm)	430	10
硫黄酸化物(ppm)	約900	10
窒素酸化物(ppm)	250	20
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> <sub>N</sub> )	5	0.01
水銀(μg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub> )	50	30
注記	国の排出基準を遵守 市独自の規制値を設定	

